

**製品名: GPR103 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11621**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	49kDa

**抗原情報**

遺伝子名	QRFP
別名	QRFP; GPR103; Pyroglutamylated RFamide peptide receptor; AQ27; G-protein coupled receptor 103; Orexigenic neuropeptide QRFP receptor; SP9155
遺伝子 ID	84109.0
SwissProt ID	Q96P65
免疫原	抗血清はヒト GPR103 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 271-320

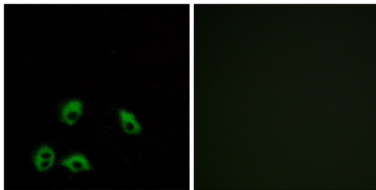
**背景**

機能: 食欲増進神経ペプチド QRFP の受容体。この受容体の活性は、アデニル酸シクラーゼ活性および細胞内カルシウム濃度を調節

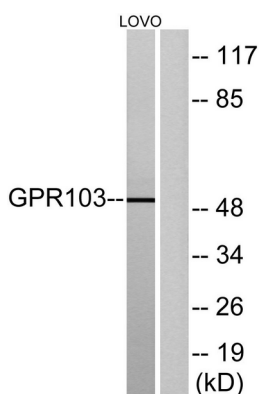
する G タンパク質によって媒介される。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。組織特異性: 脳に広く発現しており、視床下部、三叉神経節、前庭ニューロンに高レベルで、扁桃核、皮質、下垂体、海馬、視床、尾状核、延髄に中レベルで発現している。末梢組織では、網膜に高レベルで、心臓、腎臓、精巣、甲状腺に中レベルで発現している。機能: 食欲増進神経ペプチド QRFP の受容体。この受容体の活性は、アデニル酸シクラーゼ活性と細胞内カルシウム濃度を調節する G タンパク質によって媒介される。類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。組織特異性: 脳に広く発現しており、視床下部、三叉神経節、前庭ニューロンで高発現、扁桃核、大脳皮質、下垂体、海馬、視床、尾状核、延髄で中程度の発現を示す。末梢組織では、網膜で高発現、心臓、腎臓、精巣、甲状腺で中程度の発現を示す。、

## 研究分野

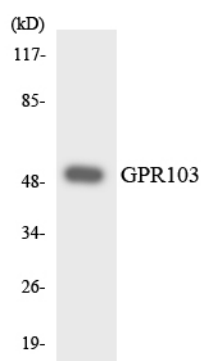
## 画像データ



GPR103 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



GPR103 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロックされている。



GPR103 抗体を使用した Jurkat 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。